

はじめに

鎌倉市では、年度ごとに図書館で実施した事業を、この「鎌倉市の図書館」という形でまとめています。平成 25 年度の「鎌倉市の図書館」ができましたので、ご高覧ください。

いま、図書館のあり方が問われています。図書館の運営に関しても、自治体が直接運営するものから、指定管理者に運営を任せるところや、業務の一部を委託する図書館など、様々な運営方法がとられています。あり方に関しても、本を貸す、見るという場所から人々が交流する場所へと考え方が変わりつつあります。鎌倉市の図書館としても、時代の流れ、市民の思いを受け止め、要望等に応じていきたいと考えております。そのような中、平成 26 年 4 月に、これから 5 年間の鎌倉市の図書館のサービスに関して、「第 2 次鎌倉市図書館サービス計画」を策定したところです。平成 30 年度までこの計画に基づき図書館を運営していきます。市民の皆様にとってより使いやすい図書館を目指していきます。

さて、平成 25 年度にした主な事業をご紹介します。

平成 25 年 9 月 1 日から 10 日まで、平成 25 年度郷土資料展として、「90 年前の関東大震災と鎌倉」と題して、当時の写真、手記などの資料を展示しました。1,901 名の方に観覧していただいたところです。3 年前の東日本大震災の記憶が新しい中で開催したため、市民の皆様に関心が高かったのでしょうか。反響が大きかったため、腰越、深沢、玉縄の各行政センターでも、規模を縮小して巡回展示を行いました。これからも図書館所蔵の資料を公開していく機会をもっていければと思います。

10 月 26 日から 11 月 3 日にかけて、中央図書館と地域館 4 館で、ファンタスティック☆ライブラリー102 を開催しました。これは、図書館と関わりの深い団体であります「図書館とともだち・鎌倉」「かまくら女性史の会」「郷土資料を読む会」「CPC の会」「鎌倉アカデミアを伝える会」等みなさんと協働して実施したものです。鎌倉女学院で開催しました「文化をつむぐ図書館でつながる」では、阿刀田高氏、福原義春氏をお迎えして、119 名の聴衆の中、出版文化、図書館に関しての熱いお話を聞くことができました。これからも毎年、秋に開催しますので、図書館に足をお運びいただければと思います。

平成 25 年度の主な事業をご紹介しますが、この「鎌倉市の図書館」が、図書館活動を評価し、図書館をより使いこなしていただくための資料として多くの方にご活用いただければ幸いです。そして、多くのご意見・ご要望を図書館にお寄せいただければと思います。どうぞよろしく願い申し上げます。